

かさま

ka sa ma

広報

2010
April

4

Vol.49

特集 TOPICS

平成22年度施政方針 (P2) ▶ (P3)

主要施策の概要【抜粋】 (P4) ▶ (P10)

重要事務事業 (P11)

平成22年度予算 (P12) ▶ (P13)

第6回クールシェヴァール国際音楽アカデミーinかさまで
レッスンを受ける受講生(市内在住・飛田和華さん)

平成22年4月8日発行 笠間市市長公室秘書課
〒309-1792 茨城県笠間市中央3-2-1 ☎0296-77-1101 FAX0296-78-0612
URL <http://www.city.kasama.lg.jp/> E-mail info@city.kasama.lg.jp



平成 22 年度施政方針

〈3月2日、第1回笠間市議会定例会より〉

◆ はじめに

平成22年度の一般会計をはじめ各特別会計・企業会計の予算並びに係諸議案のご審議をお願いするにあたり、市政運営についての基本的な考え方と主要施策などについて所信を述べさせていただきます。

平成18年の3市町合併から平成22年度で5年目を迎えようとしています。これまで議員各位そして市民の皆様には、市政運営にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

この間、私は「公平、公正なひとつのまちづくり」「住民との対話、連携協働」「開かれた市政、情報公開」「行財政改革の断行」を理念として、「笠間市」のまちづくりに取り組んでまいりました。

合併をして4年が経過した現在、国全体が大きな転換期にある中で、人口の減少、少子高齢化の進展や住民ニーズの多様化など行政課題はますます多くなってきています。これらの課題に対応していくためには、行政責任のあり方や政策過程を含めた行政情報の公開がさらに重要となってきました。知恵と工夫に基づき地域の力で解決していくことが必要となっており、そして、地域の力は自助、公助、共助の理念を共有し、その仕組みを確立することで強化されるものと

考えます。

本市には、歴史と風土に育まれた文化や芸術、産業、また、交通の要衝となる交通条件といった多くの財産があります。これらの財産を融合し、活用することで、「地域の活性化」と「市民生活の向上」の実現を目指す施策へとつなげていくことが私の役割であります。

その行政施策の取り組みの中心として、「子育て」、「農業」、「医療・福祉」を重点項目としながら、市民の皆さんと一緒に考え、進めていく「安心・安全」「暮らし向上」「産業発展」「教育文化」「自主自立」そして「実践し行動力を発揮する」の6つの都市づくりに挑戦し、躍進する笠間市を目指してまいります。

◆ 市政を取り巻く情勢

◇ 国内情勢

さて、一昨年の世界的な金融危機から続く厳しい経済情勢の中、生活の安定を確保するためには、経済の安定が重要な課題となっています。中国をはじめとした海外経済の改善や各国の経済対策の下支え効果により、景気は、持ち直し傾向にあるといわれるものの、デフレ傾向や円高による景気回復への悪影響が懸念さ

平成 22 年度施政方針

administration policy of KASAMA

れており、雇用についても失業率が5%を超えるなど、依然として厳しい状況にあります。

さらに、企業収益の悪化や個人所得の減少により、国や地方の税収が大きく落ち込んでいます。

このような中、国においては、昨年の政権交代により、ムダづかいや不要不急な事業を根絶するため、既存予算のゼロベースでの見直しや事業仕分けによる予算の組み替えを行い、「コンクリートから人へ」「政治主導の徹底」「予算編成プロセスの透明化」の3つの変革を目標に掲げ、平成22年度予算は「いのちを守る予算」として予算編成が行われたところでもあります。

◆茨城県情勢

また、茨城県においては、景気後退による税収の落ち込みや県住宅供給公社の財政支援などの課題を抱え、かつてない極めて厳しい危機的な財政状況に直面している状況にあります。

このような中、平成22年度県予算が発表され、一般会計総額は1兆753億1500万円と前年度当初比0・1%の微減で、実質9年連続のマイナスとなっており、中小企業の資金繰り支援や5,200人以上の雇用創出など、最重点課題の経済・雇用対策に2,800億円規模の積極的な配分をした予算となっております。

り、橋本昌知事が昨夏の知事選で公約した「生活大県」を目指し、福祉、医療、教育、子育て支援など県民生活に密着した分野に重点的に配分をした予算となっています。しかし、景気後退で県税収は15・9%減と2年連続で大幅なダウンが想定され、地方交付税も臨時財政対策債の比重が増すなど、将来の県財政に不安を残しております。

◆施政方針の考え方

本市の状況ではありますが、人口については、少子高齢化等により過去5年間で約2,000人減少し、2月1日現在の常住人口は79,575人です。

また、人口千人あたり出生数は、平成15年の8・7人に比べ平成20年は6・8人まで減少しており、若い人たちが子どもを安心して生み育てる環境づくりが必要となっています。

農業につきましては、農業従事者の高齢化による耕作放棄地の増大や担い手の育成、食料自給率の問題、産地間の販売競争など多くの懸案事項を抱え、これらの対策が急務となっております。

また、地域医療や福祉につきましては、医療制度改革に関連する一連の国の動きなどにより、大きく変化しております。

中でも、医療については、医師不足や医師偏在などにより、地域の医療提供体制における課題が山積している状況であります。

このような状況の中、平成22年度は、昨年に引き続き少子化対策「かさまつ子プロジェクト」、農業施策「クラフト農業プロジェクト」の2つの施策に加え、地域医療・福祉施策「すこやか安心プロジェクト」に力を入れてまいります。

「かさまつ子プロジェクト」につきましては、保育料の軽減や子育て支援センターによる支援、かさま健康ダイヤル24事業などの既存事業に、新たに育児援助のためのファミリーサポート事業や不妊治療費助成事業の拡充、さらには複合的機能を有する児童館の検討などに取り組んでまいります。

「クラフト農業プロジェクト」につきましては、農業は地域の産業という考えのもと、担い手の育成や豊富な農業資源の有効活用のため、引き続き、経営安定化農業やグリーンツーリズムに関する施策などに取り組んでまいります。

「すこやか安心プロジェクト」につきましては、市立病院において日曜日・平日夜間救急診療を実施するとともに、医療費自己負担助成事業（マル福）の拡充と高齢者人間ドッグ助成事業を新規事業として行なってまいります。また、健康づくりにつながる施策を推進してまいります。

主要施策の概要〔抜粋〕

1. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり 〔土地利用 都市基盤〕

◆笠間稲荷門前通り整備事業

笠間稲荷門前通りのにぎわい創出を図るため、地元商店会や観光協会などと連携し、歴史文化に配慮した道路景観整備を行います。また、笠間稲荷門前通り活性化事業に取り組み、笠間の観光の核となるようなまちづくりを目指します。

◆友部駅周辺整備事業

都市計画道路友部駅北線や友部駅南口駅前広場の完成により、本市の玄関口にふさわしい交通環境の改善が図られたところとす。引き続き、駅南口地区の魅力ある市街地再生に向けて、地域住民の方々との協働による「にぎわい創出に向けたまちづくり」を推進します。

◆岩間駅周辺整備事業

平成22年度は、岩間駅橋上化・自由通路の建設工事に本格的に着手し、平成23年度完成に向けて取り組んでいきます。また、都市計画道路岩間駅東大通り線や日吉町古市線も自由通路の完成に合わせ整備を進めます。さらに、岩間駅東土地区画整理事業は、換地計画に基づき区画道路の整備や画地造成を3か年計画で実施します。

◆国・県道の整備

石井市内の国道50号4車線化工事は、平成22年度の完成に向けて進めています。今後は、国道355号笠間バイパス

の早期完成に向け、国、県などと連携しながら事業促進に努めます。

◆市道の整備

国の交付金や合併特例債などを活用し、新市の一体化を図るための主要路線である来栖本戸線や南友部平町線、上町大沢線の早期完成に向け整備を進めます。

◆生活道路の整備

交通危険箇所や緊急車両の通行不能箇所など、緊急性の高い要望路線を優先的に整備します。また、昨年8月の集中豪雨に伴い浸水等の被害が発生した笠間地区の排水整備は、既設排水路の流下能力等の調査・検討を行い、計画的に事業を実施します。

◆畜産試験場跡地

茨城県との調整を図り、跡地利活による情報発信を促進するため、一部を広場として市民に開放し、市民の憩いと交流の場として暫定利用します。今年4月から整備に着手し、7月末の供用開始に向け準備を進めます。

◆デマンドタクシーかさま

運行から2年が経過し、登録者数、利用者数とも増加するなど、市民生活の足として、徐々に定着しています。

利用者の意見やデマンドタクシーの特性を踏まえ、平成22年度から見直したエリアでの運行を開始します。

◆光ファイバー網の整備

笠間地区や岩間地区のブロードバンド・ゼロ地域を解消するため、国の平成21年度補正予算による「地域情報通信基盤整備推進交付金」を活用し、光ファイバー網の整備を進めており、平成22年末

までに地域間の情報格差を解消していきます。

2. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり 〔産業〕

◆中小企業の支援

自治および振興金融に対する保証や利子補給、また、緊急支援策として「笠間市企業活動支援事業」を引き続き実施します。さらに、国が行っている「中小企業緊急雇用安定助成金」の企業負担分を軽減するため、「笠間市中小企業緊急雇用安定支援補助金」を創設し、支援を行います。

◆雇用の支援

個人事業者や就職活動中の離職者などが、職に関連する資格を取得するための経費に対して支援を行う「職業能力アップ支援事業」に新たに取り組みます。また、引き続き「ふるさと雇用再生特別基金事業」「緊急雇用創出基金事業」を活用して、約50名の雇用を創出します。

◆企業誘致

地域経済の活性化や新たな雇用の創出を図るため、高速道路の優位性を生かした茨城中央工業団地（笠間地区）や笠間東工業団地の企業へのPR活動や誘致アンケート、フォローアップを行い、優良企業の立地を推進します。特に、笠間東工業団地は、低価格のリース制度を新たに制定し、企業誘致に取り組みます。

◆笠間市がんばる企業応援連絡会

既存企業の訪問を定期的に行い、行

平成 22 年度施政方針

administration policy of KASAMA

政に対する要望を聞き、各種行政手続きの各課との調整などを行うワンストップサービスにより、事業地拡張計画事業者の支援活動に努めていきます。また、引き続き、市報での企業紹介やホームページに従業員等の募集を掲載するなど支援活動に取り組みます。

◆定住化の促進

人口減少の抑制や定住化促進策の調査検討を行うため、定住化促進プロジェクト検討委員会を昨年12月に設置しました。検討委員会では、常磐大学の協力を得ながら、今年8月ごろまでに定住化施策の検討を進め、人口減少対策の新たな施策を展開していきます。

◆商業の振興

県の補助事業を活用し、「街なかになぎわい創出事業」などで商工会を支援します。また、美術館・商工会・観光協会・商店会、さらには学生などと連携し、「笠間アートのみちめぐり」などの「街なか活性化事業」を展開します。

食の名物づくりとして取り組んでいる「笠間のいなり寿司」は、品質向上を目的にしたコンテストやPRを目的にしたイベントなどを関連団体と連携して開催します。平成22年度は、食のイベントへの出店や「笠間のいなり寿司」のキャラクター「笠間のいな吉」のグッズを製作し、笠間の名を全国にPRしていきます。

◆地場産業の支援

「稲田みかげ石」の公共事業への活用や販路拡大などを目的に行っている「いばらきストーンフェスティバル」「ストーンエキシビジョン」、また、環境対策事

業の「スラッジ処理組合」への支援を引き続き行います。

「笠間焼」については、県や関係機関と連携し、公共事業への活用や「笠間の陶炎祭」「笠間火器」など特徴のあるイベントでのPRのほか、国の緊急雇用制度を活用し、市内外への販路拡大や他産業連携などを支援する「笠間焼プロデューサー事業」を笠間焼協同組合などへ委託して実施します。

商工業振興施策の中心となる商工会が今年1月に合併しましたので、各地区と連携を取り事業展開されることを期待します。

◆観光の振興

笠間観光協会は、昨年8月に「通年型観光地」を目指し、笠間の特色を活かした体験型旅行プラン「笠間発見伝」を販売しました。また、今年4月から旅行業を登録し、「笠間発見ツアーーズ」として業務を開始するため、市としても観光推進マネージャーを中心に新しい企画を提案し、支援していきます。

北関東自動車道の延伸や茨城空港開港を契機に、県や広域観光協議会、笠間観光協会と連携し、首都圏、特に群馬、栃木方面への観光PR活動を強化します。さらに、市独自の活動として、都内での笠間の観光や物産の紹介を継続的に開催します。

佐白山自然探訪推進事業として、周辺の自然を新たな視点から見直し、「大黒石」や「歌うたい石」「ふね石（通称）」などの自然石の造形美を観賞できる散策路を整備していきます。愛宕山の整備は、観光案内やレクリエーション機能を充実

「笠間発見伝」とは

「笠間にしかない魅力」を発見し伝える。そして笠間人と旅人の交流から、共に感動を発見できる旅が「笠間発見伝」です。

お客様が笠間に到着後、周遊するタクシーや周遊バスがセットされているため、道に不慣れな方、車の運転ができない方、電車でお越しの方でも気軽に安心して笠間ならではの体験プランが楽しめます。



笠間発見伝vol.1表紙

させるため、案内看板の設置を進め、地域の魅力を向上させます。北山公園は、バーベキュー場の移設を含め、散策路などの整備計画を策定します。

市内のイベントは、春の「花めぐり」、秋の「笠間の菊まつり」等をより魅力のあるものとし、観光客の滞在時間が延長するよう関係団体と連携して取り組みます。また、「笠間の菊まつり」では、本市と交流のあるドイツ・ラー市の菊装飾を参考に、笠間らしい菊の装飾を検討し、華やかさを演出します。

◆水田農業の推進

米の「戸別所得補償モデル事業」と併せて「水田利活用自給力向上事業」が実施されますので多くの稲作農家が本制度の恩恵を得られるように周知等に努めます。また、転作に大きく寄与してきた集



たくさんの家族連れでにぎわった「かさま新栗まつり」

落着農組織等に対する支援措置も引き続き実施します。

◆経営安定化農業

安定的な農業経営を目指した担い手の育成強化と新規就農者の確保に努めます。具体的には、担い手の根幹となる認定農業者への経営改善活動支援や集落営農組織等の法人化に向けた支援を引き続き実施します。また、計画的に新規就農を目指す農業後継者を対象に、農業技術等を長期的に学ぶ場合の研修支援策を新たに実施します。

◆農産物の生産振興

花きや栗に代表する本市の主要な農産物について、生産体制の強化支援策を引き続き実施します。これらの農産物を販売促進に結びつける戦略として、栗の商品開発やPR活動を含めた笠間新栗まつり

り等への支援、さらに地域ブランド「かさまの粹」認証制度の創設により、笠間産農産物の品質向上と加工による付加価値化など、イメージアップを図りながら農家所得の向上を目指します。

◆農地の基盤整備

霞ヶ浦農業用水は、平成21年度から滝川地区で用水利用を開始しました。今後は末端受益地への早期着水を目指し、関係機関と連携を図ります。また、用水の有効利用が早期にできるよう、受益予定地区である友部土地改良区の水排水施設整備に向け、県営基盤整備事業の採択を目指していきます。

現在、箱田中央、滝川、小原（畑総）の基盤整備を実施しており、地域との調整を取りながら進めていきます。

農村の環境対策として、農地・水・環境保全事業に取り組んでおり、平成22年度も引き続き、土地改良施設の維持補修を含め地区の環境保全を図っていきます。

◆森林の整備

森林湖沼環境税を活用した森林機能緊急回復整備事業による間伐や作業路の整備を行い、健全な森林の育成と多様な森林の活用を推進します。

3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり

【健康福祉】

◆健康づくりの推進

平成22年度から2か年で「笠間市健康増進計画」や「食育推進計画」を策定します。この計画は、策定段階から市民や

地域が協働し、主体的に参画することによって、自らの目標をつくりあげることや、計画内容を実施することにより得られる成果や効果を市民が自ら評価検証できるといふ、笠間市独自の取り組みとすることを念頭に策定するものです。平成22年度は、策定体制の整備と基礎調査としての市民アンケートを実施し、健康づくりや食育に対する市民ニーズの把握に努めます。

◆地域の健康づくり

疾病の予防に取り組み、特に、生活習慣病対策として、筋力トレーニングやストレッチを取り入れた健康体操を引き続き実施していきます。

◆市立病院改革プランの推進

経営状況は改善の兆しが見られており、今後さらに、市立病院が目指す在宅医療を支援する訪問診療を積極的に行っていくきます。

市立病院では、医師確保が重要課題となっています。引き続き医療関係機関からの情報収集や募集広告により常勤医師にこだわらず非常勤医師も含めた医師確保に努めます。

また、地域医療の教育の場である地域医療研修ステーションへの参加を行い、医師派遣の実現に向けた取り組みを行います。

◆初期救急診療体制の実施

市医師会、県薬剤師会笠間支部、県立中央病院の連携・協力のもと、今年4月から市立病院において、月曜日から金曜日までの平日夜間午後7時から10時まで、初期救急診療を実施します。さらに、休日診療当番体制を見直し、祝日・年末

平成 22 年度施政方針

administration policy of KASAMA

年始を除く、全ての日曜日に市立病院での診療を実施します。

◆医療費自己負担助成事業（マル福）の拡充

従来の重度心身障害者、妊産婦、母子家庭・父子家庭のひとり親家庭、乳幼児への医療福祉費の支給に加え、小学6年生まで対象年齢を拡大し、制度の充実を図ります。

◆高齢者の人間ドック健診助成

後期高齢者医療保険加入者の基本健康診査を年1回実施していますが、平成22年度からは、多くの検診項目が受診できる人間ドック健診の助成を新たに実施します。

◆福祉の推進

「笠間市地域福祉計画」を基本として、少子化対策をはじめ高齢者福祉・障害者福祉などに積極的に取り組み、社会福祉協議会やボランティア、NPO法人などと連携を図りながら、福祉サービスの向上と地域コミュニティの構築に努めます。

◆障害福祉の推進

今年4月から、発達障害者や育児に不安のある方を対象とした親子通園事業を笠間地区で開始し、全3地区で実施することにより身近な場所に参加できるようにするなど、サービスの向上に努めます。さらに、障害者の相談窓口となっている「障害者地域自立支援協議会」についても、地域ケア事業などと連携を図り、相談から支援まで一体的な対応ができる体制づくりを検討します。

◆生活保護世帯の自立促進

厳しい社会情勢の中、生活保護の相談はますます増加することが予想されます

が、住宅支援事業などのセーフティネット制度の活用により、生活保護者などの自立に向けた支援を推進します。

◆高齢者福祉の推進

介護予防事業では、シルバーハビリ体操の普及、認知症ケア講演会や認知症サポーター養成講座などを実施するとともに、転倒予防、筋力アップや認知機能改善に役立つスクエアステップ教室を、今後も継続して実施できるよう、リーダー養成に取り組み、介護予防の充実に努めます。

介護保険事業では、介護サービスの利用状況を、介護度の状態に応じて点検するソフトを取り入れ、介護費用の適正化を図るとともに、家族介護用品支給などの介護者への支援や小規模多機能型居宅介護施設などの整備促進を行い、介護サービスの充実を図ります。

◆ファミリーサポート事業

「かさまつ子未来プラン」の基本理念である「地域みんなで支え合う子育てのまち笠間市」を目指して、子育ての援助を希望する利用会員と、子育ての援助をする提供会員との相互援助活動であるファミリーサポート事業を実施します。

◆保育事業の運営

延長保育サービスや一時保育サービス等を行っていますが、引き続き子どもを安心して預けられるよう、保護者のニーズに合った保育サービスの充実に努めます。

◆放課後児童クラブ

平成21年度に宍戸小学校に独立した児童クラブの建設と友部小学校児童クラブ室の増築を行い、平成22年度からは定

員を増やして待機児童の解消を図ります。さらに、児童クラブの保育時間については、平日は放課後から午後7時までに、土曜日や夏休み等の長期休業日は午前7時30分から午後7時までに、開始時間と終了時間をそれぞれ30分延長し、サービスの拡充を図ります。

また、民間活力の導入によるサービスの向上のため、新たに稲田小、大原小、宍戸小の3か所の児童クラブの業務を民間委託し、児童や保護者の希望に沿った運営を推進します。

◆不妊治療費の助成

次世代育成支援の重点事業として体外受精の補助額を顕微授精と同額の10万円（限度額）に増額します。また、今まで2年間の補助期間を5年間に延長するなど助成制度の拡充を図ります。

◆「かさま健康ダイヤル24」の充実

市民が、24時間いつでも、健康、医療、子育て、介護などを無料で相談できる「かさま健康ダイヤル24」については、日常の健康に関する不安等を解消し安心して生活できるよう、今後、より一層の利用促進を目指します。

◆出会い創出支援事業

結婚を希望する方への支援については、引き続き、市内の団体が行う出会いの場づくりやいばらき出会いサポートセンターへの入会に対して助成を行います。また、市内の企業・団体の独身者を集めての交流会や話し方・マナーアップ講座などを開催し、出会いの場づくりを推進します。

4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり
【生活環境】

◆上水道事業の統合

経営基盤の強化、水道施設の効率化を目指し、平成22年4月から笠間・友部・岩間水道事業を笠間市水道事業として統合します。

また、石綿管・鉛管の早期解消に向けた事業を引き続き進めていきます。

◆下水道事業の推進

平成22年度は、管渠工事のほか、笠間地区からの圧送管（笠間幹線）の予備ルート調査・設計を行います。岩間地区では高野前橋汚水中継ポンプ場が完成します。また、浄化センターともべの汚泥棟増設工事を進め汚水処理能力の向上を目指します。農業集落排水事業については、小原地区を中心とする友部北部Ⅰ期地区の管渠工事を引き続き実施します。

県の森林湖沼環境税の導入による下水道接続支援補助金を活用することで、下水道事業の区域内の接続率の向上を図ります。

合併浄化槽設置事業についても、引き続き森林湖沼環境税を原資とする県の補助事業を活用し、高度処理型合併浄化槽の設置促進を図ります。

◆消防防災対策

市民が安心して暮らせる、災害に強いまちづくりのため、防火水槽や消火栓などの施設整備を実施するとともに、住宅用防災機器の設置を促進します。

救急体制については、救命率の向上を図るため、市民への応急手当の普及啓発

やAEDの取り扱いを含む普通救命講習会の開催をさらに推進します。

また、救急業務については、消防機関と医療機関が連携し、救急隊員が行う応急処置の質を向上させるなど、メディカルコントロール体制の充実を図り、救命率の向上に努めます。

消防団については、活動理解を含め活動PRを行い、減少傾向にある消防団員の加入促進に努め、災害時の対応の充実を推進します。

◆防災の推進

地域の防災意識の高揚と防災力の強化を図るため、引き続き区長等の協力を得ながら自主防災組織の設立を促進していきます。

また、災害発生時の対応として、笠間地域防災計画に基づき、関係機関の協力を得ながら、市民や児童を対象にした総合防災訓練を友部地区で実施します。

◆交番の再編

県の交番・駐在所再編整備計画により市内交番の統廃合がされています。友部地区交番については、老朽化が激しく、手狭であるため、引き続き県に対し新設要望を行い、地域住民の安心安全の確保に取り組んでいきます。

◆防犯対策・交通事故防止

昨年の笠間市内での犯罪事件事故の発生状況は、刑法犯罪件数、交通事故発生件数とも、一昨年より減少していますが、今後とも、警察署や防犯連絡員、防犯ボランティア、交通関係団体との連携を密にし、防犯対策や交通事故防止活動の強化を図り、だれもが安心して安全に暮らせる健全なまちを目指します。

◆多様化する消費者問題

被害防止・解決のため、相談窓口である消費生活センター機能の充実を図りながら、平成22年度は、消費者行政活性化事業補助金を活用し、市民の皆さんに悪質商法に対する対応法や消費生活センターのPR等を重点的に行います。

◆環境対策

環境基本計画推進事業に基づき、引き続き、市民・事業者・市が協働して行う事業を推進していきます。

◆地球温暖化対策

国の平成21年度第2次補正予算による地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用し、本庁舎に太陽光発電システムを平成22年度に稼働させ、二酸化炭素排出量の低減につなげるとともに、電気代の経常経費を削減します。また、温室効果削減計画の策定に着手するとともに、公用車については、新たに電気自動車の導入や軽自動車への買い替えを行っていくことで温室効果ガス排出の削減に努めます。さらに、自然エネルギーの有効利用を促進するため、住宅用太陽光発電システムや住宅用エコキュートを設置する市民に、経費の一部を補助する事業を開始します。

◆大郷戸清掃センター跡地対策

平成22年度は跡地の安全対策として、鉛直遮水工の本体工事に着手します。今後とも地区住民と認識を共有し、安全性の確保と将来的な周辺環境保全に努めます。

◆「エコフロンティアかさま」

福田地区の振興を図るため、環境保全等協定（県・市・地元・事業団による4

平成 22 年度施政方針

administration policy of KASAMA



3月20日開園した鯉淵公園の遊具で遊ぶ子どもたち

者協定」の締結に向け、地区住民で組織された協議会との合意形成に努めます。また、安心・安全な施設の管理運営を徹底するよう、引き続き環境保全事業団に働きかけをしていきます。

◆住宅等の耐震改修

地震による建築物の倒壊等の被害から市民の生命と財産を保護するため、「笠間市耐震改修促進計画」に基づき、建築物等の耐震化に対する意識の向上と啓発に努め、引き続き昭和56年以前に建てられた木造住宅を対象とした木造住宅耐震診断事業を実施していきます。

◆公園整備

公民館、図書館、子育て支援センターなどの機能を備え幅広い年齢層が集う「市民センターいわま」の南側に、子どもたちが安心して遊べる身近な公園を整備します。

5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり

【教育文化】

◆学校施設の耐震化

学校施設は、安全性が極めて重要であり、本市では平成18年度から施設の耐震化に取り組んでいます。平成22年度は、笠間小学校校舎と岩間第三小学校屋内運動場の耐震補強工事を実施します。

◆小中学校規模の適正化

昨年11月に「笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会」を設置し、今年9月をめどに適正化に関する答申が出される予定です。

◆学校給食

老朽化の進んだ笠間学校給食センターを建て替えるための事前調査を実施するとともに、具体的な建築計画を策定し、改築事業を推進します。なお、笠間・岩間地区で行っている米飯給食に係る経費の一部補助を友部地区でも実施し、友部地区の学校給食費を値下げし、岩間地区の給食費と同額に見直しを行います。

◆寺子屋事業

小学校5年生と6年生を対象として毎週土曜日に実施し、学力向上に引き続き、取り組んでいきます。

◆学力向上対策

確かな学力を育むためには、小学校から基礎的・基本的な学習内容をしっかりと身に付けなければなりません。そのために各学年に学習アドバイザーを配置し、生徒一人一人に対応した、きめ細かな授業を行っていきます。併せて、小学校4年生を対象とした県の学力向上サポー

トプラン事業との相乗効果が期待されます。

◆音楽によるまちづくり

「クールシユヴェール国際音楽アカデミーinかさま」は音楽によるまちづくりを目指して実施していますが、平成22年度は新たに「公共ホール音楽活性化事業」に取り組み、公共施設や福祉施設など、さらには学校へアーティストを派遣して、市民や子どもがなお一層音楽を身近に感じられる事業を実施します。

◆市史編纂事業

旧市町の歴史をお互いに認識し、新市における一体感を高めることを目的に平成19年度から編纂に取り組んでいます。が、平成22年度中に「新笠間市史」の発刊を予定しています。

◆スポーツの振興

かさま陶芸の里マラソン大会や全国高等学校アームレスリング選手権大会を引き続き開催します。また、今年8月には新たに全国高等学校ゴルフ選手権大会が宍戸ヒルズカントリークラブで開催され、例年開催されている日本ゴルフツアー選手権と同時開催のスナッグゴルフの全国大会と併せて支援していきます。

◆スポーツによる健康増進

市内のスポーツ団体等との連携を深め、各種スポーツ教室の充実に努めます。また、スポーツ（体育）施設については、施設の安全を優先し、住民サービスの向上に努めます。

◆図書館のコンピュータシステム

笠間図書館・岩間図書館のシステムと、友部図書館のシステムが違っていたことから、ご不便をおかけしました

が、平成 23 年 3 月のシステム統合に向けて作業を進めています。これにより、友部図書館の資料にも IC タグが付き、3 つの図書館の資料検索がひとつの画面でできるなど、大幅に利便性が増し、より一層、市民サービスの向上が図られます。

◆国際交流の推進

元氣かさま応援基金を活用し、青年海外派遣事業を引き続き実施します。平成 22 年度は、昨年と同じ中国を派遣先とし、高校生・大学生を対象に 6 名を派遣する予定です。

海外都市との交流は、笠間市国際交流協会と連携し、ドイツ・ラー市との都市交流やレバノン・クウェートとの親善交流を続けていきます。また、国際化に対応できるまちづくりを進めるため、在住外国人に対し生活情報の提供を行います。

6. 人と地域、絆(きずな)を大切にしたい 元氣なまちづくり

◆協働のまちづくり

現在、協働のまちづくり推進指針の策定を行っています。この指針がより実行性のある指針となるよう、関係団体や企業などからも広く意見を聞きながら指針を策定し、協働のまちづくりを総合的に推進します。

◆市民活動団体への支援

団体設立に対する支援や団体の事業への 3 年を限度とした継続的な支援により、新たな団体の利用を促進し、市民活

動や地域のコミュニティ活動の活性化を図ります。また、市民活動団体等の公益活動支援のため、引き続き公用車の貸出し制度の利用を促進します。

市内 NPO 法人は、昨年から 3 団体増えて、現在 17 団体が県の認証を受け活動しています。さらに法人化に向けた支援を行うとともに、市内の NPO 法人の専門的知識を活かした行政との協働事業を推進します。

◆男女共同参画の推進

笠間市男女共同参画計画に基づき、参画講座やフォーラム等の開催、男女共同参画推進事業者の認定を進めていきます。また、笠間市審議会等委員への女性の参画促進要項に基づき、多くの女性が市の政策や方針の決定過程に参画できるよう平成 24 年度までに女性比率を 30 % に引き上げることを目指します。

◆行財政改革の推進

指定管理者制度の導入や民間委託、補助金の適正化、職員の定数削減など、積極的に取り組んでいきます。今後も、景気低迷に伴う歳入の減少が見込まれており、一層効果的・効率的な行政運営と歳出構造の改善を図るため、第二次行財政改革大綱を策定し、将来にわたって持続可能な行財政基盤の構築に努めます。

◆笠間・岩間の支所機能

合併から 4 年が経過し、サービスの利用状況にも変化がみられることから、検討の第 1 段階として、今後の支所機能や規模について、市民の皆様を検討していただくための委員会を設置しました。地

域の行政サービス拠点として、地域住民の皆様が真に求める行政サービスについて活発な議論をいただき、支所のあり方を検討していきます。

◆事務事業評価

成果志向への転換、説明責任の向上や効率的で良質なサービスの提供を目的として、平成 22 年度から事務事業評価を本格実施し、市民の皆様などの評価も視野に入れながら、施策へと反映したいと考えています。

さて、平成 22 年度は合併から 5 年目の節目の年であります。合併 5 周年記念事業として 11 月には「NHK のど自慢」を笠間市民体育館で開催します。

本市では継続的な国際イベントや全国大会などが開催されており、これらのイベントを通じて「茨城の笠間」から「日本の笠間」として情報発信していきます。また、市民の主導・参加によるイベントや市民活動団体等の登録制度の導入などを進め、市民力、地域力を活かした事業によって「ひとつの笠間」が実感できる「文化交流都市」を築いていきます。

今後とも、信頼できる行政の構築ができるよう行政が担うべきものの再整理を行いながら市民の能力を含め、民間活力を最大限に活用した責任ある「自主・自立」の都市を目指していきます。

また、市政運営については、今後も議員の皆様と議論を重ね、信頼できる行政を目指していきます。

笠間市長 山口 伸樹

平成22年度 笠間市の重要事務事業

笠間市総合計画 「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」～みんなで創る 文化交流都市～

基本構想
(6つの柱)

基本計画
実施計画

重要事務事業
(29 事業)

広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり

【土地利用・都市基盤】

1. 岩間駅周辺整備事業 1,485,512千円
2. 幹線道路整備事業
 - 南友部平町線整備事業 90,000千円
 - 上町大沢線整備事業 99,318千円
 - 笠間小原線整備事業 29,788千円
3. デマンド交通システム運行事業 70,241千円
4. 光ファイバー網推進事業 11,000千円
(H21年度 整備事業費 約650,000千円)

多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり

【産業】

5. 地域資源活用事業
 - 観光戦略事業 3,009千円
 - 地場産業支援事業 6,913千円

6. クラフト農業プロジェクト(平成22年度重点施策)

経営安定化農業

- 担い手対策強化促進事業(拡充) 4,116千円
- 主要農産物生産振興支援事業 3,340千円
- 地場農産物PR事業 1,406千円
- 水田利活用支援事業 50,000千円

環境保全型農業

- 土づくり運動推進事業 317千円

グリーンツーリズム

- 二地域居住者活動支援事業 112千円
- 体験農業支援事業 778千円
- 農作業支援モデル事業 255千円

7. 市街地活性化事業 22,913千円
 - 笠間稲荷門前通り整備(新規) 17,117千円含む
8. 企業誘致及び支援事業 4,483千円
9. 雇用対策事業 122,463千円
 - 職業能力アップ支援(新規) 2,000千円
 - 中小企業緊急雇用安定支援(新規) 7,500千円
 - 緊急雇用創出事業 87,273千円
 - ふるさと雇用再生特別基金事業 25,690千円

共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり

【健康・福祉】

10. すこやか安心プロジェクト(平成22年度重点施策)

市立病院

- 休日夜間救急診療の実施(新規) 55,166千円
- 筑波大学病院連携事業(指導医・研修生受入)(新規)
- 医療費自己負担助成事業(小6まで拡大)(拡充) 49,000千円
- 高齢者人間ドック助成事業(新規) 2,500千円

11. 障害者地域生活支援事業 77,353千円

12. かさまっ子プロジェクト(平成22年度重点施策)

子育て支援

- ファミリーサポート事業(育児援助事業)(新規) 2,606千円
- 児童クラブ事業(預かり時間延長)(拡充) 121,922千円
- 不妊治療費助成事業(拡充) 3,000千円

健康支援

- 「かさま健康ダイヤル24」事業 5,540千円

結婚支援

- 出会い創出支援事業 438千円

自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり

【生活環境】

13. 狭あい道路整備事業 73,505千円
14. 生活排水対策事業 1,380,257千円
15. 民間救急ボランティア応急手当普及啓発活動事業(新規) 44千円
16. 木造住宅耐震診断事業 1,600千円
17. 防犯灯整備事業 5,200千円
18. 地球温暖化対策事業
 - 太陽光発電・IoT助成事業(新規) 13,500千円
 - 電気自動車導入(リース)事業(新規) 1,440千円
19. 大郷戸清掃センター跡地対策事業 99,675千円

人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり

【教育・文化】

20. 小中学校耐震化整備・耐震診断事業 475,651千円
 - 笠間小学校整備
 - 穴戸小学校整備
 - 岩間第三小学校体育館整備
 - 友部第二小学校耐震診断
 - 笠間中学校整備
21. 笠間学校給食センター基本調査設計事業(新規) 2,500千円
22. 寺子屋事業(学力向上事業) 1,739千円
23. 図書館システムの統一 3,208千円
24. 公共ホール音楽活動事業(新規) 138千円
25. 新市史編さん事業 16,167千円
26. 青年海外派遣事業 1,876千円

人と地域、絆(きずな)を大切にしたい元気なまちづくり

【自治・協働】

27. 協働のまちづくり推進事業
 - 協働のまちづくり推進指針の策定 139千円
 - まちづくり市民活動助成拡充 1,500千円
28. 第二次行財政改革大綱策定事業(新規) 278千円
29. 徴収対策強化事業 37,320千円

問合せ:財政課(内線218)

平成22年度予算

一般会計・特別会計・企業会計を合わせた平成22年度予算総額は、461億580万円となっています。予算編成に当たっては、限られた財源の中、重点的かつ効率的な予算配分に努め、行財政改革の推進や都市基盤整備、特に少子化対策、農業施策、医療・福祉施策に重点を置いた予算編成をしました。

一般会計

一般会計は、市税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

平成22年度の一般会計の予算額は、265億4千万円となっています。

歳入

自主財源のうち、市税は90億6,641万1千円を見込んでいます。依存財源の地方交付税は57億3千万円、国庫支出金については39億1,238万5千円を計上しました。このほかの歳入についても、適切な見通しのもとに計上していますが、今後も積極的に財源の確保を図っていきます。

歳出

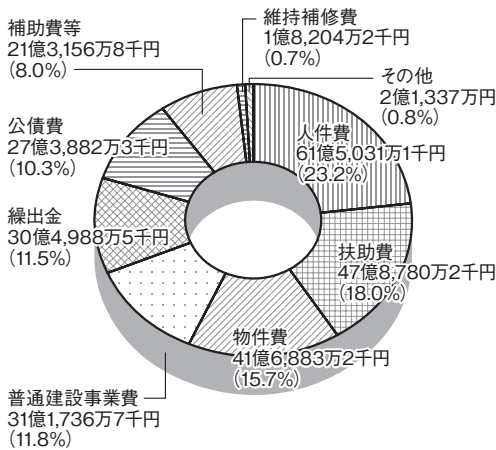
限られた財源に対し、歳出では経費節減に努め、各種施策の効果的な予算配分を行いました。

民生費には、高齢者の福祉対策、障害者の入所・通所等の支援費、子ども手当、乳幼児や重度心身障害者等の医療扶助、生活保護及び災害関係の経費として80億8,441万7千円を計上しました。

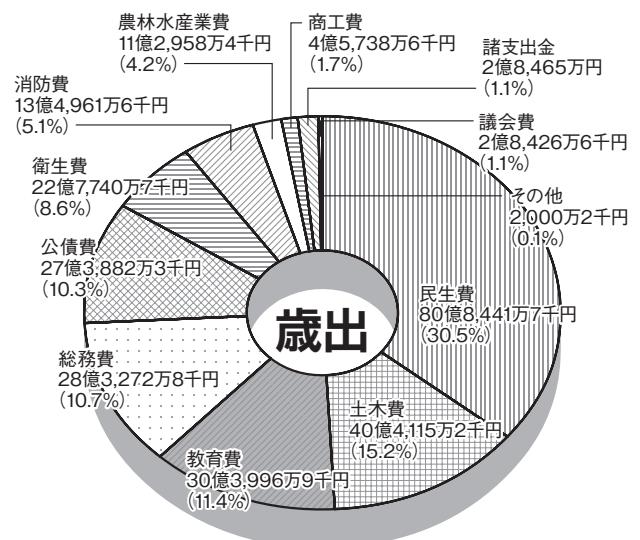
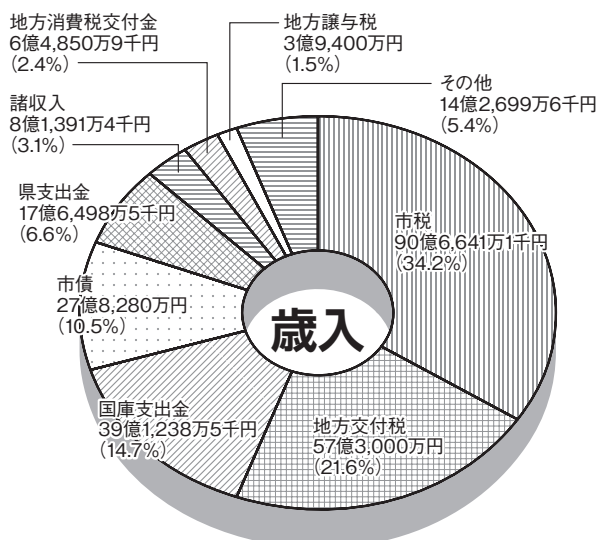
土木費には、生活の基盤である道路の改良工事や公共下水道事業への繰出、岩間駅周辺整備事業費など、40億4,115万2千円を計上しました。

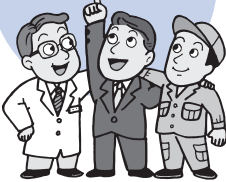
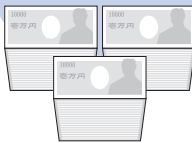
教育費には、小中学校、幼稚園の整備・管理費や生涯学習・公民館・図書館運営などの社会教育費、体育振興・給食センター運営などの保健体育費などとして30億3,996万9千円を計上しました。

歳出予算性質内訳



一般会計 265 億 4,000 万円



総務費 税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など  35,215 円	教育費 各小中学校や公民館・図書館の運営費など  37,792 円	土木費 市道の整備・補修や公共下水道の繰出金など  50,238 円	民生費 高齢者・障害者福祉対策や医療福祉など  100,502 円	市民一人当たりに使われるお金 ※ 2月28日現在人口(住民基本台帳)80,440人で算出 合計 329,935 円
その他 議会費や商工費など  13,007 円	農林水産業費 国・県事業の負担金や農業振興等補助金など  14,043 円	消防費 消防団や防災施設整備費など  16,778 円	衛生費 予防接種や各種健診、ごみ処理事業など  28,312 円	公債費 市債の元金・利子の返済  34,048 円

■ 特別会計

区 分	予 算 額
国民健康保険	79 億 1,370 万円
老人保健	760 万円
後期高齢者医療	6 億 3,800 万円
介護保険	44 億 5,400 万円
介護サービス事業	2,740 万円
公共下水道事業	25 億 2,320 万円
農業集落排水事業	8 億 7,510 万円
岩間駅東土地区画整理事業	1 億 1,980 万円
特別会計合計	165 億 5,880 万円

▲
特別会計は、国民健康保険や介護保険、公共下水道事業などの特定事業を行う場合、それぞれの特定収入で運営していく独立した会計のことです。

■ 企業会計

区 分		予 算 額
病院事業	収益的支出	5 億 3,300 万円
	資本的支出	1,290 万円
	計	5 億 4,590 万円
水道事業	収益的支出	17 億 6,240 万円
	資本的支出	6 億 6,680 万円
	計	24 億 2,920 万円
工業用水道事業	収益的支出	2,740 万円
	資本的支出	450 万円
	計	3,190 万円
企業会計合計		30 億 700 万円

▲
※ 上水道事業：平成 22 年度から笠間水道・友部水道・岩間水道事業を統一

▲
企業会計は、事業から得る収益を主な財源として、運営していく会計のことです。本市では、病院事業と上水道事業および工業用水道事業で3会計があります。

一般会計 265 億 4,000 万円
特別会計 165 億 5,880 万円

企業会計 30 億 700 万円
予算総額 461 億 580 万円

南友部地区自主防災組織設立式 3つの自主防災組織が同時に設立

南友部地区自主防災会設立式が2月20日宿公民館で行われ、「原店自主防災会」「南友部宿自主防災会」「久保・古山自主防災会」の3つの自主防災組織が設立されました。これは、近年地域での交流が希薄化する中、改めて近所の助け合いの力を見直そうと、区長を中心とした組織設立の取り組みが結実したものです。

今後は、防災をキーワードに地域の交流をより一層深めながら、いざというときに「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の精神で、隣近所が協力し助け合う活動が行われることになります。



南友部地区自主防災組織設立式の様子

ブランド化に向けて 笠間産「栗」商品試作発表会を開催

笠間の栗グレードアップ会議による笠間産「栗」商品試作発表会が2月24日、笠間クラインガルテンで開催されました。栗は、秋を代表する味覚で、和・洋菓子、料理を問わず優れた加工特性があります。高品質な地元産栗を使った新たな商品を提供し、魅力をPRすることで産地ブランドの確立を目的に実施されたもので、この趣旨に賛同した19事業者から24もの商品が出品されました。発表会では、試食を交えて栗の加工性や味、商品化の採算性等について活発な意見交換が行われました。



試作品を囲んでの、活発な意見交換

笠間市次世代育成支援行動計画 「かさまっ子未来プラン」(後期行動計画)を策定

(「かさまっ子未来プラン」は笠間市次世代育成支援行動計画の通称です。)

急速な少子化の進行は、将来の社会活力の低下や社会保障制度の維持の問題など、社会全体に与える影響が懸念されています。そのため、子どもを生み育てやすい社会環境の整備が早急な課題となっており、笠間市では、平成19年度から平成21年度を計画期間とした次世代育成支援行動計画(前期行動計画)を策定し「地域みんなで支え合う子育てのまち笠間市」を目指して、少子化対策を重点施策として取り組んできました。

この計画の見直しにあたり、就学前児童および就

学児童の保護者へのアンケート調査やハッピートークなどにより保育ニーズの把握やご意見・ご要望等をいただくと共に、学識経験者、保育・教育関係団体の代表者・公募市民などからなる「笠間市次世代育成支援対策地域協議会」での審議を経て後期行動計画を策定しました。



今後も後期行動計画(計画期間平成22年度～平成26年度)により、だれもが安心して子どもを生み育てられる環境づくりに積極的に取り組み、次代の社会を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つよう、施策を総合的・計画的に取り組んでいきます。

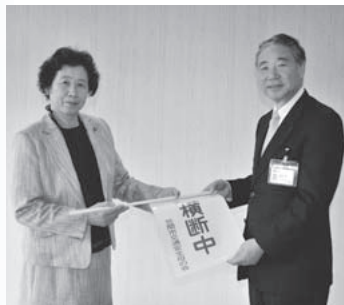
計画書は笠間市子育て支援ホームページ「かさまぽけっと」から閲覧することができます。(PDF形式)
URL:<http://www.city.kasama.lg.jp/kosodate/>

《計画期間内に重点的に取り組む事業》

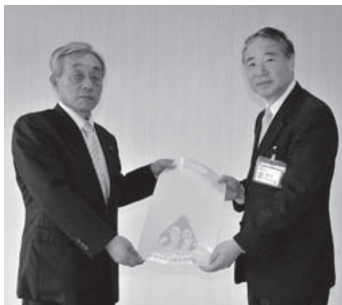
- ・ファミリーサポートセンター事業の実施
- ・次世代を担う男女の出会いの場づくりの促進
- ・放課後児童クラブの充実
- ・乳幼児医療福祉費(マル福)の支給年齢の拡大
- ・特定不妊治療費助成事業の充実
- ・複合的な機能を有する児童館の整備
- ・遊具の設置及び公園整備の検討

ご寄附、ありがとうございました

このほど、笠間市交通安全母の会から横断歩道を渡る際に掲げる横断旗1,500本、笠間地区交通安全協会から市内小学校の新1年生の交通安全の願いを込めたランドセルカバー750枚が笠間市教育委員会に寄附されました。



笠間市交通安全母の会より



笠間地区交通安全協会より

ま ち の 話 題

友部駅南口広場が完成

このほど、友部駅南口広場の整備が完成し、供用が開始されました。南口広場は、従前の約3倍の広さとなり、これまでの慢性的な渋滞が解消し、北口広場とあわせ、明るく使いやすい駅前広場となりました。バスやタクシーなどの乗降スペースも整備され、送迎や駅利用のための駐車場も設置されました。



市の玄関口としてふさわしい駅前が誕生

あさひ子どもを見守る会が発足 北川根小学校で対面式

北川根小学校区で登下校する児童の見守りをそれぞれ自発的に行ってきたメンバー10名。このたび、これらの活動が県教育委員会に認められ、「あさひ子どもを見守る会」として発足しました。3月1日、会員が北川根小学校を訪れ児童と対面。会員が一人一人紹介された後、児童代表から日ごろの活動に対し感謝の言葉が伝えられました。

「子どもたちの元気なあいさつが一番うれしい。」と語る会員のこれからの活動が大いに期待されます。



あさひ子どもを見守る会の皆さん

日本舞踊こども教室発表会を開催 日ごろの練習の成果を披露

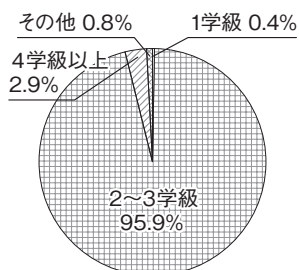
2月28日、笠間市伝統文化日本舞踊こども教室の発表会が笠間公民館で開催されました。日本舞踊こども教室は、文化庁の委託事業のひとつとして行われているもので、市内に住む2歳から高校生までの男女30名が参加しています。花柳太純乃先生の指導の下、練習を重ねてきた成果を十分に発揮しようと、色とりどりの着物姿で、小さい子はかわいらしく、大きい子はしっかりとした足取りで踊っていました。



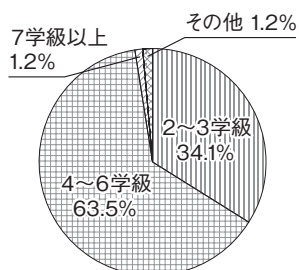
女子全員で「さくらさくら」を披露

【学校規模に関する教員アンケート】

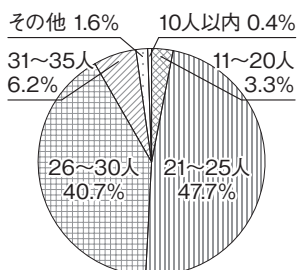
◆ 小学校 1 学年あたりの望ましい学級数



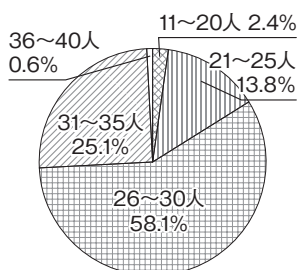
◆ 中学校 1 学年あたりの望ましい学級数



◆ 小学校 1 学級あたりの望ましい児童数



◆ 中学校 1 学級あたりの望ましい生徒数



5. 市民アンケート（保護者・新成人・市民合計）と教員アンケートの傾向

(1) 1 学年あたりの望ましい学級数

市民から見た小学校の 1 学年あたりの学級数は、【2～3 学級】とする割合が全体の 80% 近くを占めています。一方、教員アンケートでは、【2～3 学級】とする割合が市民よりもさらに多い 96% を占め、市民・教員とも【2～3 学級】を小学校の望ましい学級数とする傾向にあります。

中学校で見ると、市民の場合は【4～6 学級】が 68% を占め、次いで【2～3 学級】が約 23% を占めています。教員の場合も市民と同程度ですが、市民に比べて【2～3 学級】の割合が増えています。

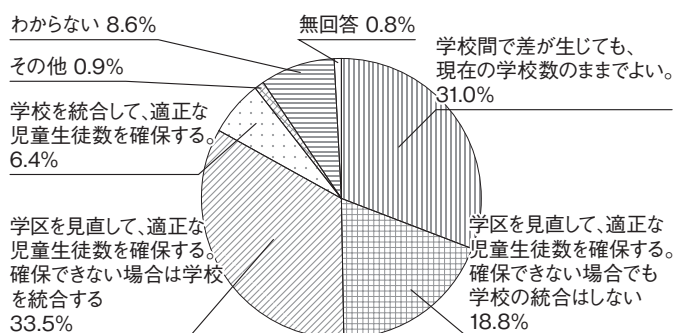
(2) 1 学級あたりの望ましい児童生徒数

市民から見た小学校の 1 学級あたりの児童数は、【26～30 人】とする割合が 46% と最も多いものの、【21～25 人】が約 25%、【31～35 人】が約 18% を占めています。教員の場合は【21～25 人】と【26～30 人】がともに 40% 代で、全体の約 88% を占めています。

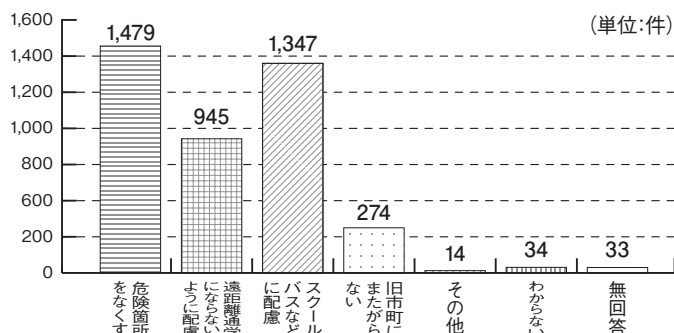
中学校で見ると、市民の場合は【26～30 人】と【31～35 人】がともに 30% 代で、全体の約 73% を占めています。教員の場合は【26～30 人】とする割合が 58% と最も多いものの、【31～35 人】が約 25%、【21～25 人】が約 14% を占めています。1 学級あたりの人数については、現行の 40 人編制よりも少ない人数が望ましいとする一方、中学校より小学校のほうを少人数にする傾向にあります。

6. 通学区域の見直しについて

(1) 学級数の少ない小中学校が増えた場合に期待すること



(2) 通学区域を見直す際に配慮すべきこと



上記(1)「学級数の少ない小中学校が増えた場合に期待すること」では、「学校間で差が生じて、現在の学校数のままでよい」または「学区を見直して、適正な児童生徒数を確保する。確保できない場合でも学校の統合はしない」とする割合(統合しない)が全体の約 50% を占めており、「学区を見直して、適正な児童生徒数を確保する。確保できない場合は学校を統合する」または「学校を統合して、適正な児童生徒数を確保する」とする割合(統合する)約 40% を上回る結果となっています。

学校規模の適正化に関するアンケート調査結果

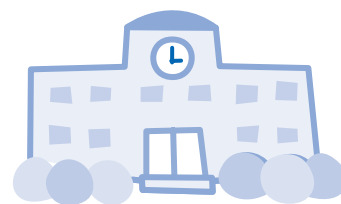
笠間市教育委員会では、市民で構成する「笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会」を設置し、児童生徒にとって望ましい教育環境づくりに向けた協議を進めています。協議にあたっては、笠間市の小中学校に関する市民の皆さんの考えを把握するため、今年2月に「学校の規模と通学に関するアンケート調査」を実施しました。本紙では、学校規模に関する国の基準等とともに、調査結果の一部についてお知らせします。

【問合せ先:学務課 教育企画室(内線72215)】

1. 学校規模に関する国の基準等

◆国の基準

- 小学校の標準学級数:12~18学級(1学年あたり2~3学級)
- 中学校の標準学級数:12~18学級(1学年あたり4~6学級)
- 1学級あたりの人数:40人以下
- 通学距離:小学校はおおむね4km以内、中学校はおおむね6km以内



◆茨城県の指針

- 小学校の学級数:クラス替えが可能で、各学年2学級以上となる12学級以上が望ましい。
- 中学校の学級数:クラス替えが可能で、すべての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましい。

2. アンケート調査の対象者

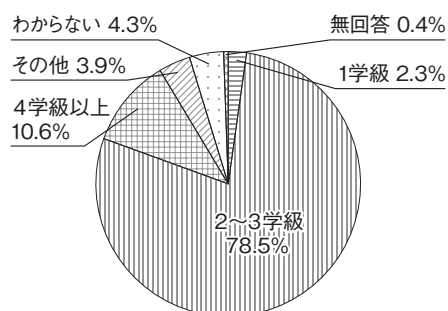
この調査は、小学3・6年生と中学3年生の保護者2,214人、小中学校の教員460人、市立中学校を卒業した新成人657人、そして無作為抽出した市民1,000人の合計4,331人にお願しました。

3. アンケートの回収率

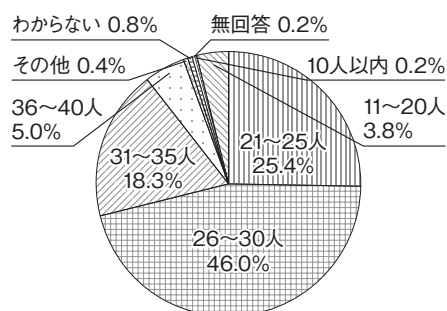
配布票数:4,331人
回収票数:2,713人
回収率:62.6%

4. アンケート調査結果【抜粋】(保護者・新成人・市民合計 ※教員を除く)

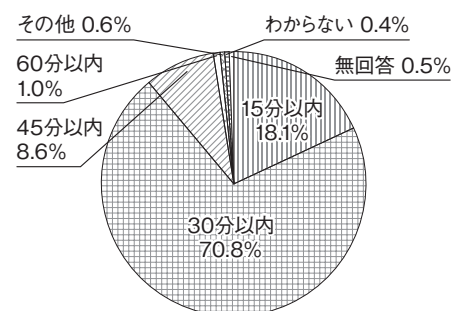
(1) 小学校1学年あたりの望ましい学級数



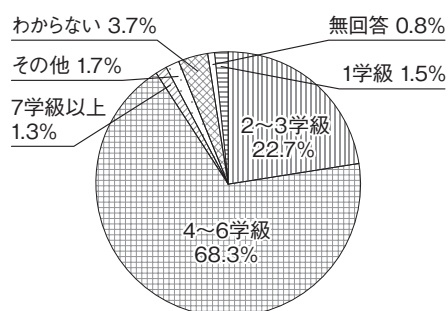
(2) 小学校1学級あたりの望ましい児童数



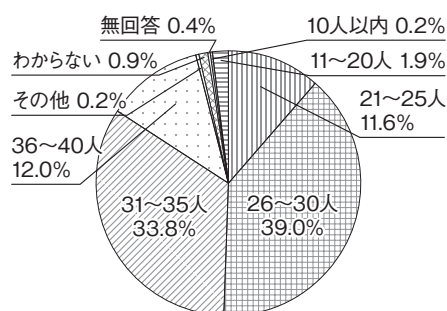
(3) 小学校の望ましい通学時間



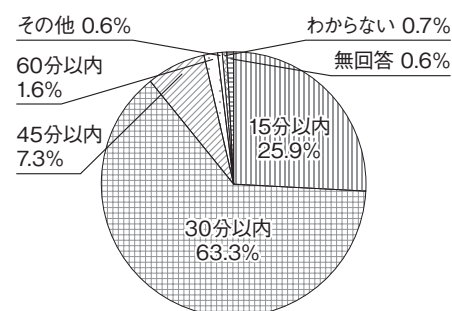
(4) 中学校1学年あたりの望ましい学級数



(5) 中学校1学級あたりの望ましい生徒数



(6) 中学校の望ましい通学時間



(部課長級・新規採用職員)

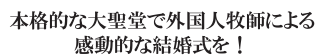
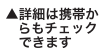
新規採用職員（配属先）

まるごと含まれた安心プランの登場。

おひとり様 20,000円～
80名様 160万円～

通常のプランより！！

総額**130**万円以上もお得です。



平日 59 800 円

土日祭日 98,000 円

【内容】●教会式●結婚証明書●ブライズルーム
●ウェディングドレス・タキシードレンタル料
●新郎着付料●新婦着付料
●小物●写真（6ツ切り1ポーズ）

神前式・人前式もごさいます

ご家族の顔合わせや少人数ウェディングなどを自宅であげませんか。ケータリングの料理を届けるだけではなく、シェフが派遣して自宅で料理を行います。

こんな方におすすめです！

●ご両親・祖父母・ご兄弟

などが療養中で
式にでられない

●生まれ育った家で式を挙げたい



情報カレンダー

5月 May

日付	行 事	日付	行 事
1 土	笠間の陶炎祭（ひまつり）（5日まで）9:00～17:00 笠間芸術の森公園（笠間焼協同組合 ☎ 0296-73-0058） 笠間つつじまつり（9日まで）8:00～18:00 笠間つつじ公園（商工観光課 内線 511） 笠間骨董我楽多市（4日まで）9:00～17:00 笹目酒造裏駐車場（笠間観光協会 ☎ 0296-72-9222）	17 月	いこいの家「はなさか」休館日
2 日	夜のつつじまつり（4日まで）18:00～21:00 笠間つつじ公園（商工観光課 内線 511） 休日窓口受付【市役所本所】8:30～12:00	18 火	窓口延長サービス【岩間支所】17:30～19:30
3 月	憲法記念日	19 水	窓口延長サービス【市役所本所】17:30～19:30 特設無料行政相談所 笠間市友部社会福祉会館（法務） 10:00～15:00 夢いっぱいクラブ（ともべ保）9:30～11:30
4 火	みどりの日	20 木	窓口延長サービス【笠間支所】17:30～19:30 子育てサロン 9:00～11:30 みなみ公民館 （更生保護女性会 甲斐邦子 ☎ 0296-72-1477）
5 水	こどもの日	21 金	地域児童相談（友保）10:00～16:00
6 木	窓口延長サービス【笠間支所】17:30～19:30 いこいの家「はなさか」休館日	22 土	
7 金		23 日	休日窓口受付【市役所本所】8:30～12:00
8 土		24 月	いこいの家「はなさか」休館日
9 日	普通救命講習会 9:00～12:00 市民センターいわま（消本） 天狗の郷バザール de いわま 岩間駅南広場 休日窓口受付【市役所本所】8:30～12:00	25 火	窓口延長サービス【岩間支所】17:30～19:30 いこいの家「はなさか」休館日
10 月	いこいの家「はなさか」休館日	26 水	窓口延長サービス【市役所本所】17:30～19:30 行政相談（友公）14:00～16:00（秘書課 内線 227） 夢いっぱいクラブ（ともべ保）9:30～11:30
11 火	窓口延長サービス【岩間支所】17:30～19:30 いこいの家「はなさか」休館日	27 木	窓口延長サービス【笠間支所】17:30～19:30
12 水	窓口延長サービス【市役所本所】17:30～19:30 夢いっぱいクラブ（ともべ保）9:30～11:30	28 金	
13 木	窓口延長サービス【笠間支所】17:30～19:30	29 土	
14 金		30 日	休日窓口受付【市役所本所】8:30～12:00
15 土		31 月	軽自動車税（全期）・国民健康保険税（第1期）納期限 いこいの家「はなさか」休館日
16 日	春季都市緑化祭 10:00～15:00 笠間芸術の森公園（都市計画課 内線 586） 休日窓口受付【市役所本所】8:30～12:00		

※岩間子育て支援センターは、毎週月・水・金曜日に開設します（市民センターいわま 10:00～16:00）。祝日は休み。

※笠間子育て支援センターは、毎週火・木・金曜日に開設します（笠間ショッピングセンターポレポレ内 10:00～16:00）。祝日は休み。

※各保健センターで実施する、検診・予防接種などは、保健カレンダーをご覧ください。

＋ 5月の休日救急診療当番(9:00～17:00)

日付	曜日	病院名	電話番号
毎週	日	笠間市立病院	0296-77-0034
3	月	栗屋医院	0296-72-1567
4	火	梅里クリニック	0299-45-2002
5	水	石橋内科医院	0296-71-3181

※当日医は変更になる場合がありますので、確認の上、診療を受けてください。

テレホンサービス（☎0296-77-9711）

4月11日～20日／福祉作文「いじめ」

4月21日～30日／岩間の伝え話「でいだら坊の足っこ」

5月1日～10日／岩間支部ボランティアだより「ボランティア紹介」

電話番号一覧

（ともべ保）ともべ保育所	0296-77-6105
（は）いこいの家はなさか	0296-77-5110
（笠公）笠間公民館	0296-72-2100
（友公）友部公民館	0296-77-7533
（岩公）岩間公民館	0299-45-2080
（笠保）笠間保健センター	0296-72-7711
（友保）友部保健センター	0296-77-9145
（岩保）岩間保健センター	0299-45-7888
（市セ）市民センターいわま	0299-37-6611
	0296-77-1101
（法務）水戸地方方法務局	029-227-9919
（消本）笠間市消防本部	0296-73-0119

春は異動の季節

国民年金の手続きを忘れずに！

春は、就職や退職など異動の季節です。この異動に伴い国民年金の資格取得や資格喪失の手続きが必要になります。忘れずに手続きをしましょう。

■会社等を退職したとき

会社を退職したときは、国民年金への加入（資格取得）手続きが必要です。（ただし、20歳から60歳までの方）

○手続きに必要なもの

- ・年金手帳
- ・退職日がわかるもの（離職票等）
- ・印鑑（本人の届出の場合には不要）

■会社等に就職したとき

会社等に就職し、厚生年金や共済年金に加入したときは、国民年金をやめる手続きが必要です。

○手続きに必要なもの

- ・年金手帳
- ・新しい職場の健康保険証（コピー可）
- ・印鑑

■扶養に入ったとき

厚生年金・共済年金に加入している配偶者の扶養に入り、国民年金の第3号被保険者になるときは、配偶者の勤務先から

社会保険事務所へ手続きをします。自分で手続きをする必要はありません。

■扶養からはずれたとき

収入が増えて扶養からはずれたとき、また、配偶者が仕事を辞めたときなど、第3号被保険者に該当しなくなったときは、第1号被保険者への切替えの手続きが必要です。

○手続きに必要なもの

- ・年金手帳
- ・扶養からはずれたことがわかるもの
- ・印鑑

詳しくは、次のところへお問合せください。

【問合せ】

保険年金課（内線141）

笠間支所市民窓口課

（内線72140）

岩間支所市民窓口課

（内線73182）

水戸南年金事務所

TEL 029（227） 3251

市長コラム

「役所の商品」

知っていますか？ 現在、市で実施している事業です。「かさま健康ダイヤル24」「医療費自己負担助成事業（マル福）」「市民活動助成費」「全国大会出場助成費」など。残念ながら、中には、あまり利用されていない制度もあります。

市では、新年度のスタートに伴い、毎年いくつかの新しい制度や事業を開始します。市民の皆さんに周知するために、市報や週報、ホームページ、チラシ等でPRを行っています。ご覧にならない方もたくさんおり、周知徹底には時間がかかります。

新事業、制度は、役所にとつてのいわば新商品です。市民の皆さんにどう売り込むのか、どう活用していただくのか、工夫をしていますが、なかなか成果に結びつかない現状もあります。良い制度であっても、利用されなければ価値がありません。本年度は、反省のもと、広報体制の充実と専門の担当職を配置し、周知徹底に努めてまいります。

この春のラインナップ（新年度の主な制度）は、「ファミリーサポート事業（育児援助事業）」「医療費自己負担助成事業（マル福）の拡充（小6までの拡大）」「高齢者人間ドック助成事業」「太陽光発電・エコキュート助成事業」などなど。ぜひ、ご利用ください。

また、今年のイベントとして、8月に全国高等学校ゴルフ選手権大会が穴戸ヒルズで行われます。また、11月には、笠間市合併5周年の記念事業としてNHKのど自慢大会が市民体育館で行われますので、どうぞ、お楽しみに！

笠間市長

山口伸樹



国道355号バイパス開通式典にて

笠間市の夜間・休日診療について

— 安定した地域医療連携に必要な処方箋 —

笠間市立病院長 石塚恒夫

4月1日より、笠間市内の医師・薬剤師、県立中央病院の医師・看護師・薬剤師の方々の協力の下に、平日夜間（午後7時から10時）と日曜日（午前9時から午後5時）の一次診療が笠間市立病院で行われます。今までは市内医療機関の輪番制で日曜・祝日のみの対応でしたが、平日夜間にも拡大されました。年末年始を含んだ祝日は従来の輪番制が残ります。一次診療では軽症患者さんに応急的な処置をし、重症であると疑われる患者さんは県立中央病院等の二次医療機関に紹介します。インフルエンザ等の迅速診断キットは使用しますが、基本的に採血やレントゲン検査は行いません。

この背景には県立中央病院の医師の疲弊があります。県立中央病院は断らない救急を目指し、周辺市町村からの二次救急患者が増加しています。しかし軽症患者の受診も多いためその対応が困難になっています。そもそも一次診療は各市町村の役割であり、笠間市が

体制を整える必要があります。当初は県立中央病院内で一次診療を輪番で行うことも検討されたのですが、一次診療と二次診療を明確に区別するため、に当院で行われることになりました。

つまり皆さんには、重症（救急搬送を必要とするような）であれば最初から県立中央病院を受診してもらいますが、軽症であればとりあえず夜間・休日外来を受診してほしいのです。小児医療に関しては、水戸とは異なり笠間市には小児科医が少なく、二次医療機関の受け入れも不十分です。現状では基本的に小学生以上を診療対象にします。しかしできるだけ多くの医師に参加してもらおうために、診療対象は担当医師の判断に任せています（15歳以上とする日もあります）。決して患者さんにとって便利になった面ばかりではありません。けれども安定した地域医療を守るためには皆さんの協力が不可欠なものです。よろしくお願い申し上げます。

笠間のがんばる企業紹介

笠間には、全国でもトップクラスの技術を持つ企業がたくさんあります。このコーナーでは、より良い製品づくりを目指して研究・開発に取り組む市内の企業を紹介します。

㈱アンペール 友部事業所

東京都新宿区に本社を置く㈱アンペールは、電子機器の開発・製造を手がけています。鯉渕地区にある友部事業所で、草柳高志（くさなぎ たかし）代表取締役社長にお話を伺いました。

— どのようなものを製造しているんですか？ —

「産業機器に搭載されるマイクロコンピュータ応用製品（ボードコンピュータなど）を製造しています。また、ヘッドホンとマイクを使って英語の聞き取り・発音を身につけるLL（Language Laboratory）システムの開発・販売も手がけています。当社のLLは省エネ性能と使いやすさが評価され、100か所以上の学校や教育施設に採用されています。」

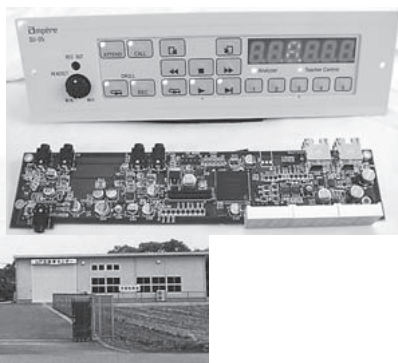
— 得意な分野について教えてくださいいただけますか？ —

「コンピュータによる計測制御技術です。コンピュータは人間で言えば脳ミソに相当しますが、当社は目や耳（計測）、手足（動作）の役割をするエレクトロニクス技術を重視しています。これにはハードウェアとソフトウェアをうまく統合する必要があります。長年培ったノウハウが不可欠です。当社では『リアル・ワールド技術』と呼んでいますが、机上の空論ではなく、

私たちが暮らす現実の世界としっかり向き合いながら開発をしています。先に挙げたLLも、生身の人間の声を扱うという点で、リアル・ワールド技術が最大限に活かされています。」

— 人間と機械の橋渡しをしているんですか？ —

「はい。これからも、『技術を通じて社会の健全な発展に貢献する』という経営理念のもと、皆様のお役に立てる企業でありたいと考えています。」



（左）工場外観（右）LLと内蔵基板



【㈱アンペール 友部事業所】

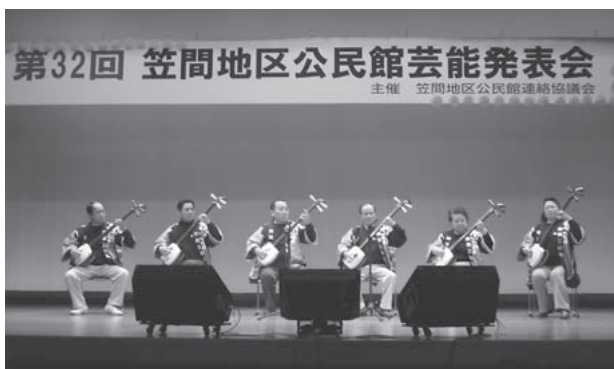
従業員数▼34人

※文責▽笠間市役所企業誘致推進室（内線228）



地区公民館芸能発表会が行なわれました

平成21年度第32回地区公民館芸能発表会が、3月7日(日)笠間公民館で開催されました。地区公民館が12館ある笠間地区では、カラオケ・舞踊・詩吟・フラダンス・三味線・フォークなど、さまざまな活動が行われており、発表会当日は日ごろの成果を披露し、盛大に行われました。



三味線合奏(津軽の唄)の様子

岩間公民館講座『花工房』受講生作品展

2月27日(土)から3月3日(水)にかけて、受講生のフラワーデザインの作品展が市民センターいわま 1階ロビーで行われました。

『花工房』講座では、昨年6月から2月まで8回にわたり富田幸子先生に指導いただき、19人の受講生が基礎と創作を学ぶことができました。

総仕上げとしての受講生の作品につるし雛も添えられて、華やかな雰囲気が訪れた人に好評でした。



受講生の作品展の様子

※平成22年度の公民館講座の受講生を募集しています。詳しくは、別紙「平成22年度公民館講座募集案内」をご覧ください。

国際交流サロン

4月の「世界のランキング 1・2・3」は世界の広い砂漠ランキングです。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

「世界のランキング 1・2・3」 広い砂漠ランキング(面積)

- 1位 サハラ砂漠(北アフリカ 860万平方キロメートル)
- 2位 アラビア砂漠(南西アジア 233万平方キロメートル)
- 3位 ゴビ砂漠(モンゴル・中国 130万平方キロメートル)

参考: サハラ砂漠は日本国土の23倍、鳥取砂丘の約100万倍の広さ

5月の国際交流情報

☆陶炎祭国際交流サロン開設(ひまつり会場)

4月29日～5月5日

☆日本語教室(友部公民館)

5月8日(土)、15日(土)、22日(土)(午前10時～)



アラブ料理講習会

アラブ料理レシピの紹介

日本の食材を代用してアラブの前菜「ホムス」を作ってみましょう。

材料(4人分):①木綿豆腐1丁②タヒーニ(市販の白胡麻ペースト)③レモン汁(1/2個)オリーブ油30ccオールスパイス・黒こしょう・塩④オリーブ油15cc⑤クミン・パセリみじん切り少々⑥ザクロ種またはイチゴ。

作り方:A豆腐の水をよく切って、ガラスボールの中でつぶしてなめらかにする。B①に②③を少しずつ入れてよく混ぜ、サラダ器に半分入れ、残りの半分は周囲に絞り袋でパイのように盛る。C④を中央に注ぎ、⑤⑥を添える。

(指導:レバノン大使館リエゾン・オフィサー 木村美枝子)

問合せ:(社)笠間市国際交流協会 Tel 090-2761-8711 (担当:木村)

◆図書館コンピュータシステムを統一します！

現在、市立図書館3館のコンピュータシステムは、笠間・岩間図書館と友部図書館の2つに分かれているため、2種類のサービスカードの使い分けや、システムの異なる図書館同士は、他市町村からの貸借と同様の手続きが必要になるなど、市民の皆さんにご不便をおかけしています。

そこで、三市町合併から5年となる平成23年3月、3館のコンピュータシステムをICタグ処理に統一します。友部図書館の資料にもICタグを張り付け、ホームページからの資料検索では、3館分の資料を同時に検索できるようにするなど、利便性とサービスの向上を、より一層図ります。

今後システム統合にともなう臨時休館や、3館のサービスの見直し等が行われます。日程やサービス内容の変更等については、随時お知らせしていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

◆2010年は国民読書年です

近年、学校で行われている「朝の読書」をはじめ、家庭や地域全体で、読書を推進する意識が全国的に高まっています。

笠間市でも、平成20年3月に「笠間市子ども読書活動推進計画」を策定し、図書館と市内小中学校等の各施設や地域で活動する読み聞かせボランティアが連携し、さまざまな事業を行っています。

さらに、国では平成20年6月の国会決議により、



「じゃあ、読もう」

2010年を「国民読書年」と定め、政官民が協力し、国をあげてあらゆる努力を重ねていくことを宣言しました。

今年度、各図書館では、国民読書年にちなんだ行事や取組みを推進していく予定です。

<子ども読書の日・読書週間 イベント情報>

【笠間図書館】

「子ども読書の日記念 スペシャルおはなし会」

4月25日(日)午後2時～2時50分まで

会場:笠間図書館2階ホール

【友部図書館】

「手作り絵本展示」

4月23日(金)～5月5日(水・祝)

会場:友部図書館1階ホール

【岩間図書館】

「よんで よんで！0歳からのおすすめ絵本展示」

4月23日(金)～5月26日(水)

会場:岩間図書館 児童書コーナー

◆笠間図書館リユースフェアを開催しました

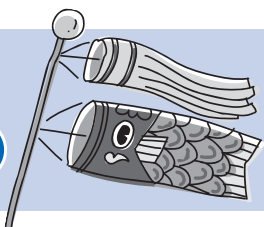
笠間図書館では、2月26日・27日の2日間、リユースフェアを開催しました。

図書・雑誌のリユース冊数および、寄付金額については以下のとおりです。

提供冊数:図書3,937冊 雑誌2,465冊

寄付金額:86,832円

なお、ご協力いただいた寄付金は、図書館運営に役立たせていただきます。ご協力ありがとうございました。

各館の
行事予定(5月)

友部図書館

◆おはなし会

(0歳～4歳向け 午前11時～)

5月20日(木)『14ひきのひっこし』ほか

◆おはなし会

(4歳～小学生向け 午後2時～)

5月2日(日)『ぐりとぐらのえんそく』ほか

5月16日(日)『ソメコとオニ』ほか

◆名作映画会(午後2時～)

5月23日(日)『ポストマン』(111分)

◆ギャラリー

◇4月20日(火)～5月2日(日)

「日本水彩画展示」青山佳寿個展

◇5月3日(月)～5月16日(日)

「写真展示」友部写真会

◇5月18日(火)～5月30日(日)

「和紙ちぎり絵展示」和紙ちぎり絵鈴の会



笠間図書館

◆おはなし会(0歳～3歳向け 午前11時～11時20分)

5月7日(金)『バナナがいっぱい』ほか

5月21日(金)『むすんだそのてをひらいてみせて』ほか

◆おはなし会(午後2時～2時30分)

5月9日(日)『クロちゃんケちゃんクロちゃんおてつだいてつだい』ほか

5月16日(日)『そらめくんのベッド』ほか

5月23日(日)『ドライブにいこう』ほか

◆ビデオ映画上映会(午後2時～)

5月15日(土)『若草物語』(122分)



岩間図書館

◆おはなし会(0歳～3歳向け 午前11時30分～正午)

5月7日(金)絵本の読み聞かせ、手遊びほか

*場所:岩間子育て支援センターくりのこ

◆日曜おはなし会(午後2時～2時30分)

5月2日(日)絵本の読み聞かせほか

◆おはなしのとびらと紙芝居(午後2時～2時30分)

5月8日(土)

読み聞かせ『ワニぼうのこいのぼり』ほか

紙芝居『ぐうたら やじべえ』

◆おはなし会(午前11時～11時30分)

5月22日(土)来てのおたのしみ！

となりのまちから

水戸地方広域市町村圏協議会

ひたちなか海浜鉄道株式会社湊線 開業2周年記念イベント開催

(ひたちなか市)

ひたちなか海浜鉄道(株)湊線では開業2周年を記念して4月25日にイベントを開催します。

当日は、乗車券の割引や沿線でのスタンプラリーなど各種イベントが行われます。皆さんのお越しをお待ちしています。

日時▶4月25日(日) ※雨天決行

場所▶湊線および沿線

イベント概要▶

①割引切符発売

当日は500円で湊線が1日乗り放題(小児250円)

②スタンプラリー

沿線の散策を楽しめます(抽選会あり)

③那珂湊駅構内での特別演奏会

アマチュアバンド等による演奏会を開催

④沿線の食めぐり

沿線の名物料理・特産品などを割引販売

⑤旧車両3連運行

国内現役最古のディーゼルカーを含む旧車両を3両連結で運行

問ひたちなか海浜鉄道(株)

Tel.029(212)8023

観光地曳網

(大洗町)

参加料は無料となっていますので、ご家族そろってご参加ください。

開催日▶5月3日(月)、5月4日(火)の2日間 ※雨天中止

時間▶午前の部 3網 先着600名

午後の部 3網 先着600名

場所▶大洗サンビーチ(無料駐車場あり)

参加料▶無料

参加方法▶当日会場でアンケートに答えていただき、地曳網に参加していただきます。

問(一社)大洗観光協会

Tel.029(266)0788

春のイベント・花情報

～地元の春をお楽しみください～

第39回 笠間つつじまつり

会期 4月17日(土)～

5月9日(日)

時間 午前8時～午後6時

会場 笠間つつじ公園

入場料 大人(高校生以上)500円、
中学生以下および障害を
お持ちの方は無料

第29回 笠間の陶炎祭(ひまつり)

会期 4月29日(木・祝)

～5月5日(水・祝)

時間 午前9時～午後5時

会場 笠間芸術の森公園

イベント広場

問合せ 笠間焼協同組合

Tel.0296(73)0058



あたご山 桜まつり

会期 4月1日(土)～

5月1日(土)

笠間稲荷神社の八重の藤・大藤

見ごろ 5月上旬～中旬

問合せ 笠間稲荷神社

Tel.0296(73)0001

鳳台院のしゃくなげ

見ごろ 5月上旬～中旬

問合せ 鳳台院

Tel.0296(72)0024

笠間 骨董我楽多市(こつとうがらくたいち)

会期 5月1日(土)～4日(火)

場所 笹目酒造裏駐車場

問合せ

商工観光課

Tel.0296(77)1101(内線511)

(社)笠間観光協会

Tel.0296(72)9222

エコフロンティアかさま監視委員会活動報告 (2月23日)

【搬入車両対策】

搬入車両等の監視活動(市内通過禁止区域の現地確認等)を市内4ヶ所で行い、各班からその結果報告を受けた。

- ・1班「エコフロンティアかさま」入口
- ・2班「オオ木交差点」角
- ・3班「逆川」芸術の森公園入口
- ・4班「施設内(管理棟前)」

【監視活動結果】

- ①搬入車両の分散化が実施されており、道路上での待機や不法な駐停車車両もなかった。また、搬入車両に義務づけられているステッカー標示については、すべての車両が守られており特に問題はなかった。
- ②市内通過禁止区域を通行した搬入車両はなく、疑わしき車両の通行もなかった。
- ③埋立地に搬入した車両の車体およびタイヤ洗浄を実施していること、また、廃棄物の搬入時点で目視検査を行っていることを確認した。

【その他】

運転管理者および運転者に交通安全教育が実施されていること、また、苦情等については特に窓口は設けていないが、随時適切に対応できる体制にあるとの説明を受けた。

【次回の監視活動】

- ・施設モニタリング・排ガスの維持管理・浸出水の放流

らくようかん 楽腰館+東平鍼・灸接骨院

笠間市東平2丁目12番8号 県立中央病院通り沿い

TEL 0296-77-9939

休診日/木曜日

土・日 診療中!

●往療可

●急患受付

●通院送迎実施中

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:30	○	○	○	/	○	○	○
午後2:30～ 8:30	○	○	○	/	○	○	○

案内

行政相談をご利用ください

行政相談は、総務大臣から委嘱された行政相談委員が、市民の皆さんの身近な相談相手として、行政に関する相談などを受け付けています。毎日の暮らしの中で、困っていること、望んでいることなどがありましたら、気軽にご相談ください。相談は、無料、秘密厳守です。

開催日▶ 毎月第4水曜日 午後2時～4時(平成22年度の開催予定日:4月28日、5月26日、6月23日、7月28日、8月25日、9月22日、10月27日、11月24日、12月22日、1月26日、2月23日、3月23日)

場所▶ 友部公民館 相談室

※10月には特設行政相談会を予定しています。

●総務省茨城行政評価事務所

TEL029(253)1100

秘書課(内線227)

国民健康保険「脳ドック・人間ドック検診」について

平成22年度の募集受付日をお知らせします。詳細は4月発行の広報かさまお知らせ版でお知らせします。

対象者▶ 平成22年4月1日現在40歳以上で受診日に75歳未満の方で、国民健康保険税を完納している世帯の笠間市国民健康保険の被保険者

受付期間▶ 5月8日(土)午前8時30分～午後0時30分、5月10日(月)～5月21日(金)午前8時30

分～午後5時30分(土・日・祝日を除く。ただし、窓口延長日は午後7時30分まで)

※募集定員になり次第締め切ります。

●保険年金課(内線139・140)

「後期高齢者人間ドック検診」について

平成22年度の募集受付日をお知らせします。詳細は4月発行の広報かさまお知らせ版でお知らせします。

対象者▶ 後期高齢者医療保険の被保険者で後期高齢者医療保険料を完納している方

受付期間▶ 5月11日(火)午前8時30分

●保険年金課(内線141・143)

平成22・23年度の後期高齢者医療保険料率について

平成22年2月17日開催の平成22年第1回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会において、平成22・23年度の後期高齢者医療保険料率が次のとおり決定されました。

また、平成22年度の保険料額については、平成22年7月中旬以降に、お住まいの市町村の後期高齢者医療担当課から送付される「平成22年度 後期高齢者医療保険料 保険料額決定通知書」をご確認ください。

なお、平成22・23年度の後期高齢者医療保険料率は、前年度の保険料率が据え置かれます。

○均等割額…37,462円

○所得割額…7.60%

※保険料率は県内一律となり、医療費の動向等をふまえて2年後

ごとに見直されます。

●茨城県後期高齢者医療広域連合事業課(水戸市赤塚)

TEL029(309)1213

保健カレンダーの一部訂正とおわび

「平成22年度 笠間市保健カレンダー」の掲載に一部誤りがありました。関係各位におわびを申し上げ、訂正します。

訂正箇所▶ 38ページ No.7

立川記念病院

【誤】8時30分～12時20分

14時～16時

【正】8時30分～12時20分

14時～18時

土曜14時～16時

●健康増進課(友部保健センター)

TEL0296(77)9145

青年海外協力隊平成21年度第4次隊

青年海外協力隊員として、当市出身の柳詩郎さんが、去る3月23日にモルディブに派遣されました。同国は、今まで情操教育が重視されておらず、2008年の新政権誕生で情操教育に力を入れはじめたものの、情操教育を指導できる教員が不足しています。

柳さんは、2年間小学校教諭として、子どもたちに図工・体育の授業を行い、同授業を通じ教員の情操教育に対する能力強化を行います。

ご活躍をお祈り申し上げます。

●(独)国際協力機構筑波国際センター

研修業務・市民参加協力課(つくば市高野台)

TEL029(838)1774

創業300年の歴史ある
畳屋で修業してきました



畳工房ニタイラ H22年1月
オープン!!

- ・畳表替え……………3,900円～
- ・襖張替え……………2,800円～
- ・障子張替え(大) 1,780円～
- ・アミ戸張替え(大) 2,100円～

新規オープン

記念セール開催中!!

4月末まで、全品表示価格より

10%OFF

見 積 り 無 料

すべて国産品!!

変わった表も多数
取り揃えております。



笠間市小原1216 TEL.0296-77-7845

シリーズ④^{ふるさと} 笠間に生きる人たち

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



会員の皆さん



山中 晃さん(会長)より

笠間稲荷門前通り商店街は、1350年の歴史を誇る笠間稲荷神社の目の前にある商店街です。

門前通り商店街は、エコを目指した商店街として朝顔によるグリーンモールや古くなって着なくなった着物をリメイクして新しい感覚の洋服に仕立て直し、それを着て披露する「ふあっしょん抄」などを展開しています。

また、年間を通して稲荷神社の神事にあわせたイベントも行っています。

街に人にやさしいエコ[eco] 商店街を目指して

私たちの商店街は笠間稲荷神社を中心とした門前町として成り立っています。年間を通して地元のお客様、観光に来られたお客様に対しましておもてなしの心で接することを考えています。

主な事業としては、冬から春にかけて商店街飾り、桃宴参加、つつじまつり装飾、夏は朝顔グリーンモール、神社茅の輪くぐり協賛イベント、祇園まつり・笠間のまつり、秋は菊まつり装飾ミレミリア参加、ふあっしょん抄、昨年の秋は狐の嫁入りイベントを開催して多くのお客様に來訪していただきました。先月には、來街者をおもてなしする雰囲気づくりとして社会実験を行いました。

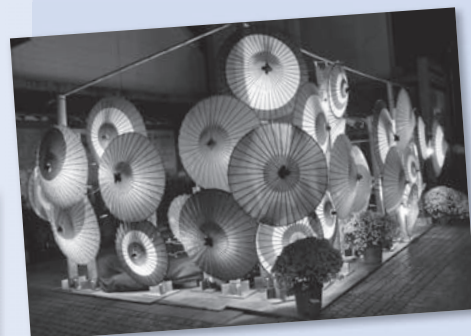
観光で來られる方、そして地元住民に愛される商店街を目指して今後とも活動していきます。

笠間稲荷門前通り 商店街協同組合

代表者 山中 晃(高橋町)
設立 平成5年5月12日
会員 37人



湯茶によるおもてなし(6月)



菊あかり回廊



かさま狐の嫁入り



ふあっしょん抄



平成21年度 笠間市表彰

おめでとうございます



友部公民館で、3月19日に平成21年度笠間市表彰式が行われました。これは、市政の発展に著しい功績があった方々をたたえるもので、行政、経済、文化、社会などの各分野で多大な貢献をされた次の5名および3団体が受賞されました。

《受賞者・功績》※敬称略

渡邊 瑞穂（石井）

統計調査員として数々の調査に従事し、常に円滑な調査を実施されました。また、笠間市統計協会会長として24年以上にわたり協会の運営を指導し、円滑な業務の運営に貢献されました。

西村 典夫（鯉淵）

長年にわたり菊の栽培技術指導者として、旧友部町に花き栽培が定着しつつある時期に農家を訪問し、防除技術の普及に努め花きの品質向上と産地の発展のため貢献されました。

入江 道弘（福原）

長年にわたり、林道を中心に定期的な巡回を行い、除草作業や路面清掃等を行うとともに、台風や降雪時には、倒木の処理を行うなど、林道の維持管理ボランティアとして、森林の保全・育成に貢献されています。

藤井 敬一（上郷）

長きにわたり、笠間市青少年相談員として、青少年スポーツの振興、ボランティア活動、社会参加活動の推進、社会環境の浄化と育成環境の整備等を推進し、幅広い青少年健全育成活動に貢献されました。

三六の会（代表 太田寛子）

昭和55年4月に点訳ボランティアとして発足以来、約30年の長きにわたり、点訳ボランティア育成のための指導をはじめ、視覚障害者への手助けなど、社会福祉に貢献されています。

あたご四季の会（代表 大山文男）

愛宕山を中心に市民自らボランティアとして、愛宕山周辺の遊歩道の補修、草刈・ごみ拾い、森林の間伐、森林学習の啓蒙等を実施し、自然環境を生かしたまちづくりに貢献されています。

「道の市」ハンドメイドフェア

in 井天町実行委員会
（代表 大嶋元則）

道が交通の場から交流の場となるよう「道の市」を企画・開催し、出展者と地域住民そして観光客が直接交流できるようなおののがあるまちづくりに貢献されています。

故 新井 昌貴（笠間）

長年にわたり市嘱託医・学校歯科医・保育所嘱託医として、市民の健康管理や学校保健の振興に貢献されました。

菜の花のからし酢みそあえ



栄養素量(1人分)

エネルギー78kcal、たんぱく質4.5g、脂質0.9g、塩分1.4g

春になると酢みそあえの味を思い出す方もいらっしゃるのでは？
あえる材料は旬のものを使って、肉と一緒にあえてもおいしいです。

材料(4人分)

菜の花…200g ちくわ…1本
ヤマイモ…4～5cm 塩…少々
(酢みそ)
みそ…大さじ2 酢…大さじ1
砂糖…大さじ1 としからし…小さじ1弱

作り方

- ①菜の花は塩を入れた熱湯でさっとゆがき、水気をよく切る。
- ②ちくわはうす切りにして熱湯をまわしかけ、水気をしぼる。
- ③ヤマイモは皮をむき、さいの目に切る。
- ④酢みそを作る。鍋に、みそ、酢、砂糖を入れ、弱火にかけ、練るように混ぜる。冷ましてから、としからしを加え、混ぜる。
- ⑤①～③の材料と④の酢みそをあえ、器に盛る。

新企画

●プレゼント 4月号締め切り: 4月30日(金)必着

市内在住・在勤の方を対象に、撮影に使用した笠間焼の器を抽選で1名様に差し上げます。このコーナーや広報紙への感想等を添えて、住所・氏名・電話番号を明記の上、秘書課広報広聴グループまで、はがき(持参可)でお申込みください。

※当選者には、電話でご連絡を差し上げますので、市役所本所秘書課まで器を受け取りに来てください。

●募集!

撮影に使用する笠間焼を提供してくれる協力店(者)を募集しています。詳しくは、市役所本所秘書課までお問い合わせください。ご応募お待ちしております。



【笠間焼の提供】
原陶工房(陶の小徑)
サイズ: 約14cm×11.5cm

かさま ぽけっと

子育て支援のページ

13



子育て親子交流の場『子育て支援センター』のご案内

子育て家庭の親子が交流のできる場として「子育て支援センター」を市内に2か所開設しています。毎月育児に役立つ講座なども開催していますので、ぜひご来場ください。

◆子育て支援センター「みつばち」笠間ショッピングセンターポレポレ2階

4/23 (金)	13:30 ～ 14:30	最近の育児相談から(講師 心理相談員 土井君枝先生)
5/18 (火)	10:30 ～ 11:30	救急法・AEDの使い方(講師 笠間消防署員)
6/15 (火)	10:30 ～ 11:30	お楽しみ会 キラキラ☆メニュー(手づくりおもちゃ他)

◆子育て支援センター「くりのこ」市民センターいわま1階

4/28 (水)	10:30 ～ 11:30	離乳食のはじめ方とメニュー(講師 保健センター栄養士)
5/26 (水)	10:30 ～ 11:30	お楽しみ会 エブロンシアター他(こぶた会)
6/23 (水)	10:30 ～ 11:30	乳児期の歯みがき(講師 保健センター歯科衛生士)

◆対象者: おおむね3歳未満の乳幼児および保護者

◆参加費: 無料

かさまぽけっとアドレス <http://www.city.kasama.lg.jp/kosodate/index.html>

問合せ: 子ども福祉課(内線164)

人口と世帯数(常住人口3.1現在)

- 人口 79,525人 (-50人)
- 男 38,998人 (-24人)
- 女 40,527人 (-26人)
- 世帯数 28,015世帯(+13世帯)
- 2月の出生者数 41人

○広報かさまに掲載されている
あなたの写真を差し上げます。
お問合せは秘書課(内線225)まで。



再生紙を使用しています。

○市ホームページモバイル
版では、行政・災害などの
さまざまな情報をお届け
しています。

アドレス

<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/>